

## 坊 やすなが「市政ニュース」



平成25年春号

安倍 晋三 内閣総理大臣と  
自民党総裁室において

## 神戸市議員 坊 やすなが

【略歴】昭和42年3月15日 北区生まれ

平成元年 佛教大学文学部卒業  
同 年 衆議院議員 砂田重民 秘書  
平成11年 自民党兵庫県連 青年部長  
平成12年 衆議院議員 公設第一秘書  
平成15年 神戸市議員に初出馬・初当選  
平成23年 神戸市議員選挙トップ当選(現3期)  
現 在 自民党政令指定都市議会議員連盟  
アーバンユースネット18 副会長  
自由民主党神戸市議員団 幹事長 他

## ご挨拶

春光天地に満ちて快い時候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ、ご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

私は皆様のお陰をもちまして元気に政治活動に励まさせて頂いております。

さて、私たち自由民主党にとりましては3年3ヶ月に亘る厳しい時期を乗り越え、昨年末の衆議院総選挙に於きまして政権与党に返り咲くことができました。ご支持賜りました方々に心から御礼申し上げます。

安倍政権は、金融経済政策はもちろんのこと、「戦後政治の弊害解消」を大きく進めるため、「自分の国は自分で守る」「日本の歴史と伝統に立脚した教育の再生」「本当に必要な人のための福祉改革」等を進め、もう一度世界から尊敬される「美しい国日本」の建設に向け邁進するものと確信しております。

私は一地方議員として、また自民党政令指定都市議会議員連盟アーバンユースネット18の副会長として全国の青年議員を纏め、全力で安倍政権を支えて参る所存でございます。今後とも変わらずのご理解、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

合 掌

平成25年4年吉日 ～心から感謝を込めて～

神戸市議員

坊 やすなが

## 子どもたちの学力向上や規則正しい生活習慣の定着を図る「神戸っ子チャレンジ10」実現!! 半年経過報告!

実現しました!



## Q 坊やすなが議員 (総括質疑 2013.3.13)

## 更なる成果に期待、地域社会へ取り組みを広げていくべき

子どもたちの学力向上や規則正しい生活習慣の定着を図るため、子どもたちの日々の目標となる標語を掲げ改善を目指して、平成24年度から「神戸っ子チャレンジ10」に取り組んでいる。

この施策は、5年以上前から重要性を訴えていた「早寝、早起き、朝ごはん」や、我々が文教経済委員会で視察に行った秋田県の「学びの10か条」を基に、生活習慣や規範意識の醸成こそが大切であるとの考えを具体化したものであると認識している。

平成24年度の神戸市学力定着度調査の結果によると、少ない睡眠時間の子どもの割合が平成23年度に比べて減少し、「学校のきまりを守っている」と回答した子どもの割合が増えるなど、確実にその成果がでてきており、嬉しく思っている。正しい生活習慣の習得は学力向上のための大前提と考えるが、市長の考えを具体化したこの「チャレンジ10」事業の成果について、市長はどう感じているのか。

また、教職員に対しては制度の周知が図られているようだが、保護者会やPTAへの紹介をしている学校の割合はまだまだ低い状況もあるため、広報を強化するなど、さらには地域・社会への取組を広げていくべきだと考えるが、見解を伺いたい。

## A 矢田市長

## PRを含め一体となって継続、定着に取り組む

「早寝、早起き、朝ごはん」と申しあげた経緯は 坊 議員からの提案でその資料を拝見しそれに触発され政策を進める事となった。規則正しい生活習慣の定着は欠かせないし、規範意識というものがこれからの日本を背負う子どもたちにとって大変重要であると感じている。

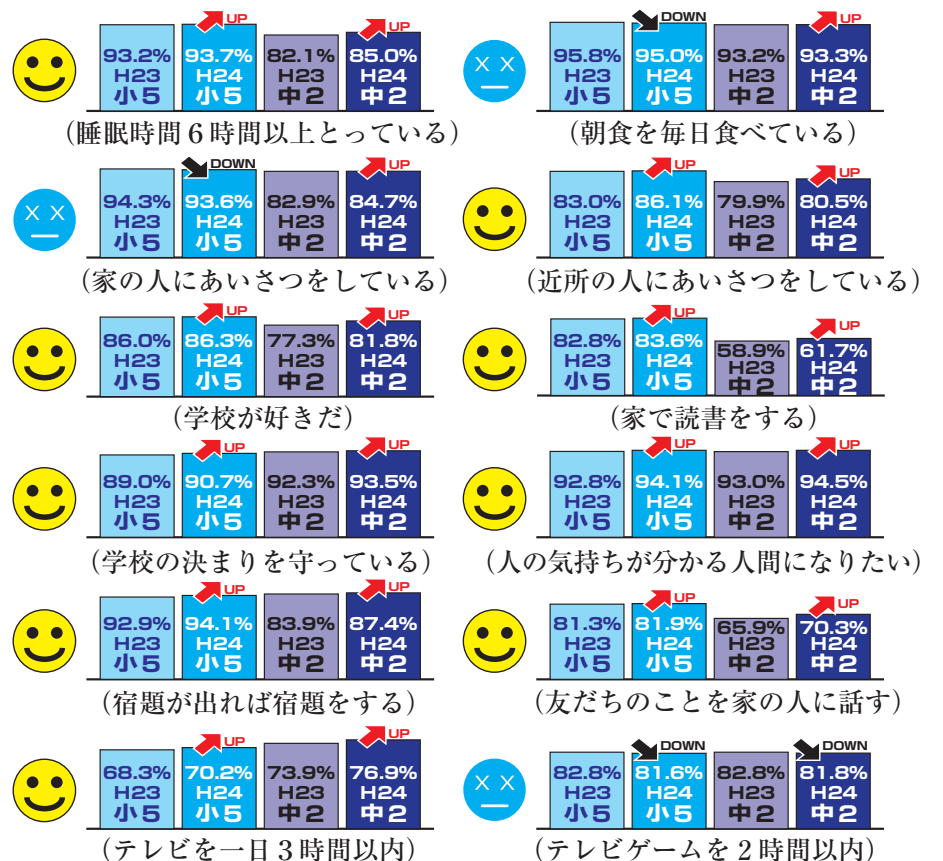
昨年8月から教育委員会のほうで、「神戸っ子チャレンジ10」と

いう施策で取り組みをはじめ、たとえば「家庭で読書をする」といったことはかなり定着が見られているのではないかとということも仄聞している。今後、「自らがあいさつや手伝いをしよう」という気持ちを持って、また「学校や地域社会等のきまりをどう守っていくか」「友だちとの関係をどう作っていくのか」といったことが大事であると思っている。

この「神戸っ子チャレンジ10」は、息の長い作業を継続してやっていかないといけない。一過性に終わっては何の意味もないので、PRも含め、地域(社会)と学校と家庭が一体となって継続して取り組んでいきたいと考えている。

## 平成24年度の神戸市学力定着度調査の結果

※小5(小学校5年生)中2(中学校2年生)





# コミュニティバス実現に向け25年度大きく前進へ！

着実に進行中！

## Q 坊やすなが議員 (総括質疑 2013.3.13)

### 市が中心となった新たな支援策を検討すべきでは

市は、25年度の予算案において、地域住民による自主運行バス等の調査・検討に870万円を計上しており、24年度の100万円に比べ拡充していることについては評価している。拡充策の中身は、北区の八多、大沢において、地元住民へのアンケート結果を踏まえた路線バスを活用した社会実験を行うものとなっている。具体的には、八多の自治会会員のニーズを踏まえ、岡場行きのバスルートを確認するほか、大沢の通院・買い物に便利なダイヤで運行して欲しいとの自治会会員のニーズを踏まえ、ダイヤの増便を検討しているとのことである。

路線バスを利用した拡充策も効果は一定見込めると思うが、より効果的なのは、やはり地域住民の身近で手軽な足として利用できる、こまわりの利く移動手段であると申し上げてきたが、市のこれまでのスタンスでは、地元の機運が高まり、勉強会などを行いながらノウハウを身に付け、自主採算で事業を行うことが前提であるとのことであった。

しかしながら、それらの地域では、本当に困っている高齢世代が、日々大変な暮らしの中で、声をあげる機会がない、自主意識の高い頼れる若者世代が近隣になかなかいない、さらにはノウハウを学ぶ時間もないなど、市の言うような前提条件を満たすまでには、容易に到達できないケースもある。まして、自主採算で、となるとさらにハードルは高くなる。

少子・超高齢化社会の進展とともに、特に高齢化・過疎化が進む北区・西区の田園地域において、老夫婦二世帯、老人単身世帯が増加する状況では地域住民の移動手段の確保は、喫緊の課題である。市はこれまでの地元の機運の醸成が先であるとのスタンスから一歩踏み出し、運行事業者への補助制度の導入など、収支差補填も視野にいたした市が中心となった新たな支援策を検討すべきではないか。それにより、まず市が支援制度を整備し、それをベースに地元の意見を聞きだしながら、個別の実情に応じた移動手段の確保を進めていくべきではないか、見解を伺いたい。

## A 小柴副市長

### どのような支援が有効なのか、地域の方々と一緒に考えてまいりたい

これまでから坊委員の指摘されてきた問題であり、24年度は地域の交通問題について先行して主体的に取り組んでいる北区の八多町・大沢町に対して、専門家派遣やニーズ調査などの支援を開始したところである。平成25年度は、まずアンケート結果をもとに路線バスを活用した地域のニーズに適応した社会実験を行い、路線バスでどこまで対応できるのか検討していきたいと考えている。その上で、路線バスで担える部分と新たに自主運行バス等で補っていく部分があるのか、見極めてまいりたい。そしてそのプロセスを経たうえで、今後の地域の実情に応じた持続可能な交通手段の確保に向けて、どのような支援が有効なのか、地域の方々と一緒に考えてまいりたいと考えている。



## 北神地域に県立高校を

ねばり強く進めます!!

## Q 坊やすなが議員 (文教経済常任委員会)

### 同人口で三木市に4校、北神に1校という状況は

平成27年度からの兵庫県立高等学校全日制普通科の新通学区は、北区民からすれば概ね歓迎すべき事だと思っています。

しかし、この事で高額な通学費問題が、解消されるものではないという事が一点。もう一点は、三木市の人口と北神地域の人口とは同数程度であります。三木市に高校が4校あって北神地域に1校しかないという状況は変わるものではありません。

やはり人口に対する高校の適正配置のためには、北神地域に高等学校を建設する必要があると考えます。新通学地域の実施後も、県に対し要望をし続けるべきと考えますが、見解をお伺いします。

## A 永井教育長

### 県に対し北神地域への高校設置要望を続けて参ります



現在(普通科5校) 平成27年度 新通学区(普通科19校に)

|       |         |      |      |
|-------|---------|------|------|
| 神戸北   | 東灘      | 須磨東  | 神戸高塚 |
| 神戸鈴蘭台 | 御影      | 舞子   | 洲本   |
| 夢野台   | 神戸      | 星陵   | 津名   |
| 兵庫    | 葦合      | 伊川谷北 | 淡路三原 |
| 神港    | 長田      | 伊川谷  |      |
| ※自由学区 | ※自由学区存続 |      |      |

自由学区…北区区域の学区の高等学校以外を志願できる地域



お問い合わせ・あらゆるご相談は  
神戸市会議員  
<http://www.bo-ing.jp>

坊やすながまで  
ぼう

〒651-1313  
神戸市北区有野中町1丁目8-6 OG岡場ビル 2階 A-1号室  
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719  
e-mail bo.yasunaga@gmail.com